



誠・力・光

令和5年2月8日

練馬区立北町中学校

学校だより 2月号

人を通した深い学び

校長 中嶋 雅彦

2月3日、本校図書室において、ビブリオバトルが行われました。図書委員会が主催するもので、生徒による自主的活動です。10名の生徒が名乗りを上げ、図書委員が司会進行をしていきます。緊張の中、一人ひとりが自分の選んだ本について、興味をもち読んでもらおうと必死に取り組んでいました。

本を読むことは、読解力、視野を広げる、知識を増やす、想像力を磨く、趣味を楽しむなど沢山の効果があります。そして、その良さを人に伝えることは、相手のことを考え、わかりやすいなどの工夫が加わることにより、自らの学びを、人を通すことによりより深いものとさせていきます。他の人との関わりから知識を知恵として活用します。この活動については、北町中独自のルールにより、進行が行われています。図書委員会が発行する「図書だより」に掲載されたものを、※1として文末に掲載しました。

また、先月、社会科の授業では、北海道、東北地方について学んだことを班に分かれテーマを設定し、生徒がミニ授業をおこなっていました。今まで学んだことを使い、どのように他の人に伝えていくかということを経験し、班の仲間と相談して作り上げていきます。ここでも、人を通した深い学びが実践されています。

本年度の学校経営方針で上げた目指す学校像には「人との関わり合いを通し、知識を知恵に変え、国際化する社会の中で生き抜く力を育てる学校」という概念を、あらゆる場面で今後も具現化し、生徒の成長を生徒とともに楽しみにしていく学校を創っていきたくと考えています。

※1

「図書だより」より

「ビブリオバトル」とは…

「書評合戦」の名前で開催されることもあります。

1. 発表者は読んで面白いと感じた本を持ち合います。
2. 発表者は順番に選んだ本について3分間で発表を行います。
3. それぞれの発表後に2分の質疑応答の時間を設けます。
4. すべての本の発表終了後、「どの本が1番読みたくなかったか」を基準として、参加者は1票を投じます。
5. 最多票を集めた本がチャンプ本になります。